

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	安全な歩行空間整備事業			事業番号	29-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部	小川 博志	道路整備課	石井 渉	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	1	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	
		施策	29	バリアフリー対策の推進	
予算事業名	歩道設置等整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	-				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	伊勢原市道路特定事業計画			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	子どもや高齢者、障害者など誰もが、安全で円滑に移動できるよう、歩行空間のバリアフリー化を推進するとともに、車両交通が円滑に通行できる道路環境整備が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	歩行者と自転車の円滑な移動を確保するため、歩行空間となる歩道や歩車共存道路等を整備します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び道路利用者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年に実施した通学路緊急合同点検に基づく市道の歩行空間の整備を実施します。 歩道設置工事(L=498m)、バリアフリー化道路工事(L=150m)、歩車共存道路整備工事(L=1,129m) 				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	歩道等整備工事	用地、補償、測量、設計、工事	補償、工事		
	バリアフリー化道路工事	計画調整	工事		
歩車共存道路整備工事	工事	工事			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	3,340m	4,500m	5,450m	

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	通学路点検や地元要望などに基づいて、安心・安全に通行できる歩行空間の整備を計画的に実施します。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	歩道等整備工事	用地、補償、測量、設計、工事	補償、工事
	バリアフリー化道路工事	計画調整	計画調整
	歩車共存道路整備工事	工事	工事
実施した取組の内容	歩道等整備工事については、5路線で用地・補償・測量・設計及び歩道設置工事を行いました。また、歩車共存道路整備工事では、3路線でグリーンベルト設置工事を行いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
			29年度
	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	3,340m	3,670m

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)		133,027		千円	141,761		千円		
	内訳	国県支出金 ①	67,132		千円	72,181		千円		
		地方債 ②	53,300		千円	56,100		千円		
		その他特財 ③	0		千円	0		千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	12,595		千円	13,480		千円		
	国県支出金の内容		防災・安全社会資本整備交付金 (補助率: 国5.5/10、市4.5/10)							
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	2.90	人	25,085	千円	2.90	人	25,317	千円
		その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
		人件費合計 (b)	2.90	人	25,085	千円	2.90	人	25,317	千円
	トータルコスト (a)+(b)		158,112		千円	167,078		千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位	
			対象数	101,635		人	102,037		人	
総事業費 / 対象数		1,556		円	1,637		円			

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	実施計画に従って歩道整備工事や歩車共存道路整備工事等を実施し、概ね計画どおり進んでいます。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	事業を実施するうえで一律に比較できません。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	計画的な歩行空間整備によって、子どもや高齢者、障害者など誰もが安心・安全で円滑に移動できる道路環境を確保しました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	実施内容の優先順位を精査し、国の交付金を最大限に活用し効率的に実施しました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	市民からの安全な歩行空間整備の要望は、強く、引き続き事業実施する必要があります。 課題としては、国の交付金等の財源確保と、用地取得が伴う歩道設置路線については、関係者に事業の必要性を理解して協力を得ることが重要です。
次年度以降の取組の方向性	通学路点検や地元要望などに基づいて、安心・安全に通行できる歩行空間の整備を計画的に実施します。
所管部長による総評	誰もが安心・安全で円滑に移動できる歩行空間の道路環境を確保することは、市民からの要望が多いため、本事業を継続的かつ効率的に推進することで道路交通環境を改善し、交通事故の防止と交通の円滑化が図られると考えます。